

- ① 国会議事堂見学
- ② 特別講演 参議院議員 南野知恵子 衆議院議員 阿部俊子
- ③ 日本看護連盟見学 -JNA(日本看護協会)ビル-

趣味コーナー

「私の趣味・自慢」

GTフィッシングとスキューバダイビング



カレンダーが夏の終わりにさしかかると、我が家ではバリ島への旅行計画が立ち始めます。毎年のバリ島行きはもはや恒例行事となっている。

バリ島はインドネシアのジャワ島とロンボク島の間に位置する火山性の島である。563万平方キロメートルに及ぶ島の面積の大部分を山岳地帯が占め、最高峰は標高3142mのアングン山(休火山)である。人口約330万人の大半はバリヒンドウといわれる独自の宗教文化をもつていて誰もが暖かく迎えてくれて「ただいま」といいたくなるほど心地いい。

バリ島は手付かずの美しい珊瑚礁が有名で、マンタやマンボウなど大物にも出会えるとあってダイバーには人気の高いエリアである。私が通うバリ島

にはそんな海に魅せられたダイバーが多く集う。そんな海で、ロウニンアジ(ジャイアント・トレバリー:GT)を釣るのが私の趣味である。ロウニンアジとはアジ科の最大級の魚であり、大きくなると

50kg以上にもなる。GTフィッシングは150gほどのルアー(疑似餌)をGTがいそうなポイントに投げて巻き取りながら泳がせ誘い、水面でGTが大きな口を開けてルアーを飲みこみ、巨体を翻して水中へ引っ張っていく、リールがうなりながら糸を吐き出すのに耐えながら魚の動きを封じるようにリールを巻き上げていく。女性にはかなりハードな巻上げだが、GTを船上にあげこの胸に抱えてその重みを味わうとやっとGTに勝ったような気分になる。大型の魚なので強靭な顎で糸を切られたり、珊瑚の下に潜られて糸が擦

が病みつきになり毎年GTに挑みにいくのである。

日本の秋から冬はバリ島では雨季にあたり、気温がぐんぐん上昇する。猛烈な日差しの中、1日中船の上で竿を振り回しているのに釣れないことも多い。そんな時に気分転換で体験ダイビングをやったときの感動と興奮が忘れられず、どうとうダイビングの認定Cカードをとってしまった。海の中には、いろんな種類の珊瑚やそこに群れる極彩色の魚たち、魚たちと一緒に泳ぎながら水中の浮遊感を楽しんだ。少し離れた深い場所にある根の上

にGTを3匹見つけた途端、体験ダイブなのに追いかけようとしてガイドにしかられたほどである。ダイビングでも大きな魚を見ようとすると、深い場所や潮流の早い場所にも行かなければいけないので目下特訓するべくダイビングに夢中なのである。GTフィッシングが「興奮」だとしたらダイビングは「癒し」に当たるのだろうか。日焼けという合併症や船酔いに悩まされながらマリンスポーツ病になってしまった。遊びなのにしんどくて大変だけれど海で遊んだあとは、帰ったら仕事をがんばって、また海に行こうと決意するのはそうとう重症なのかもしれない。

宇都宮社会保険病院 館野洋子

この趣味のコーナーに、あなたの「趣味」をお寄せください。

今年の猛暑はすごかったです。日中の最高気温が摂氏35度以上を猛暑日と言うのだそうです。今年は猛暑が長期間続きましたので、大気が不安定になり雷雨や集中豪雨の発生も増え、あちこちで被害が出て人々を苦しめました。唯一良いことは猛暑の年は豊作になりやすいそうです。北京オリンピックも無事に閉会し、北島選手の二冠達成、悲願の女子ソフトボールの金メダル獲得などで感動シーンも多かったですが、反面女子マラソン、野球などは厳しい結果に終わりました。近代オリンピックの父、ケーベルタン男爵は「オリンピックは勝つことではなく参加することです。」「人生において大切なことは成功することではなく、努力することです。」と述べましたが、再来年は私達の看護の代表を国政に送る大切な選挙の年になります。「私達はまず選挙に行き義務を果たすこと。そして努力して必ず勝利に導くこと」をモットーにこれから連盟活動への絶大なるご協力とご支援をお願いいたします。勝利の暁には、館野さんのバリ島行きに同行し、GTフィッシングを見物したいですね。 M.I